

Mocomoji Orina Colorful

モコモジオリーナカラフル



©2019 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.

保護者の方とお読みください

乾電池は使用しません。
NO BATTERIES REQUIRED.

取り扱い説明書

取り扱い説明書 & すみっコマフラーの作り方

この度は、タカラトミー「すみっコぐらし モコモジオリーナカラフル」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取り扱い説明書(本書)をよくお読みください。また、読み終わった後は必ず保管しておいてください。
※イラストと写真は実際の商品と多少異なる場合があります。※写真にありますマフラー以外の毛糸はセット内容に含まれておりませんのでご了承ください。



警告(けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ぬい針は、機能上、尖っていますので危険です。
- 毛糸は火に近づけないでください。

注意(ちゅうい)

- 作ったマフラーや小物を首にきつく巻いたり、ふざけたり、乱暴に遊ばないでください。窒息などの危険があります。
- 毛糸を首にかけてふざけたり、乱暴に遊ばないでください。窒息などの危険があります。
- 毛糸による事故の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 毛糸は、指などに巻きつけないでください。血がこぼれなくなり危険です。
- 可動部の隙間には指などを入れないでください。はさまれてケガをする恐れがあります。
- 思わぬ事故の恐れがありますので、ご使用後は3才未満のお子様の手の届かないところに保管してください。
- プラスチック袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- ハサミを使用する際には、お取り扱いにご注意ください。

作り方は動画をチェックしてね♡

タカラトミー すみっコぐらし モコモジオリーナカラフル 検索

家庭用品品質表示法に基づく表示

毛糸(タテ糸):アクリル 100% 表示者:株式会社タカラトミー
毛糸(ヨコ糸):ポリエステル 100% 0570-041031

タカラトミーでは、「子どもたちに安全で楽しいおもちゃと夢を」を第一に考えております。そのため、常に製品に対し研究、改良を行っており、お買い上げ時期によって同一製品の中にも多少異なるものや、パッケージの写真やイラストなどと異なる場合がございますがご了承ください。製品につきましては、万全の注意をはらって製造に当たっておりますが、万一お気付きの点がございましたら下記までご連絡ください。

タカラトミー お客様相談室 おかけ間違いのないようご注意ください

〒124-8511 東京都葛飾区立石 7-9-10

製品や修理については下記お客様相談室までお問合せください
電話受付時間 月曜日～金曜日(祝日・祭日を除く)10～17時
PHS、IP電話等からのお問合せは 03-5650-1031

0570-041031 タカラトミーサポート 検索

www.takaratomy.co.jp/support/index.html

株式会社 タカラトミー

©TOMY

●たのしいタカラトミーの情報はインターネットで www.takaratomy.co.jp

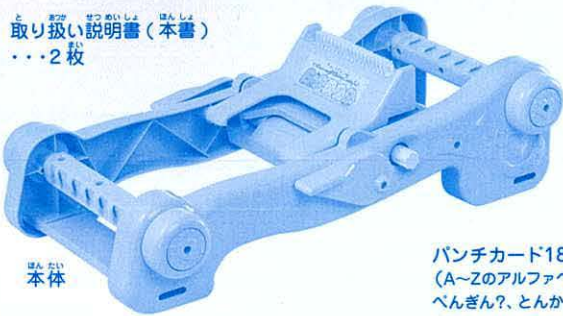
使用上のお願い

○ご使用前に、取り扱い説明書(本書)をよくお読みください。また読み終わった後は必ず保管しておいてください。○性質上、毛が抜けやすいので誤って飲み込まないように注意してください。○ハサミを使うときは十分注意してください。○火のそばに近づけないようにしてください。○プラスチック袋は梱包材ですので開封後はすぐに捨ててください。

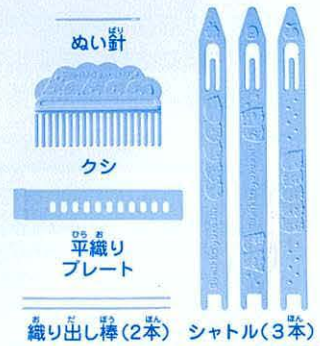
セット内容

すみっコぐらし モコモジオリーナカラフルには、次のものが入っています。使う前に不足しているものがないか、よく確かめてください。

取り扱い説明書(本書)
・・・2枚

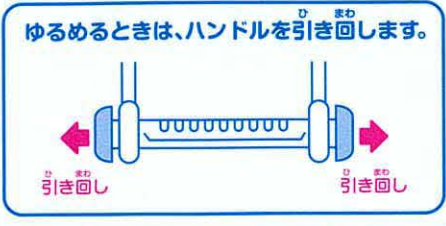
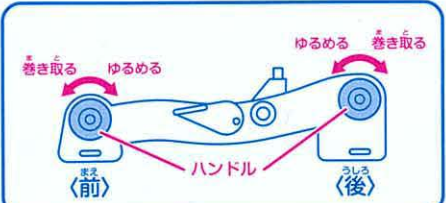
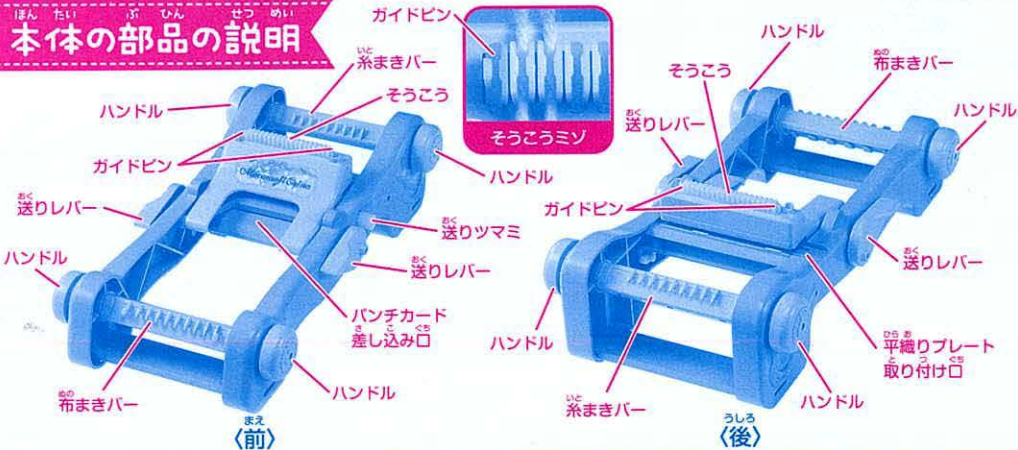


本体



パンチカード18枚
(A～Zのアルファベット、しろうま、べんぎん?、とんかつ、ねこ、とかげ)

本体の部品の説明

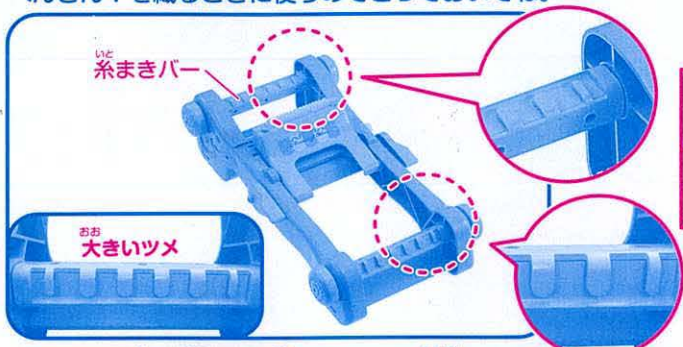


1. タテ糸のとりにつけ



タテ糸を約100~110cmの長さで36本切ります。

18本をとり、本体にとりつけます。残りのタテ糸は、ねことペンギん？を織るときに使うのでとっておいてね。

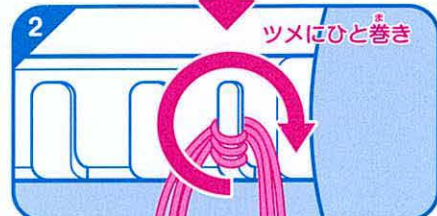
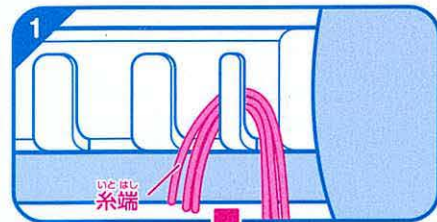


ハンドルを引き回して、大きいツメを外側にします。

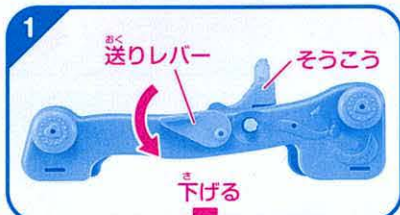
ポイント!



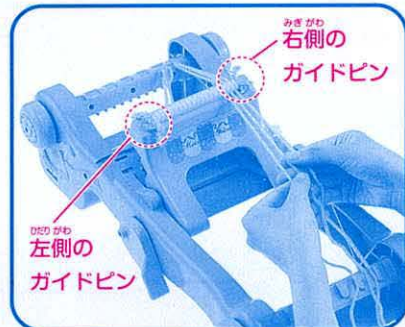
パッケージの3面の長さ(ピンクの線の部分)が110cm! 目安にしてね。



糸まきバーの右側の少し小さいツメに切ったタテ糸を3本一束にして図のように巻きつけます。手前に、やや強く引っ張ると糸がツメに固定されます。



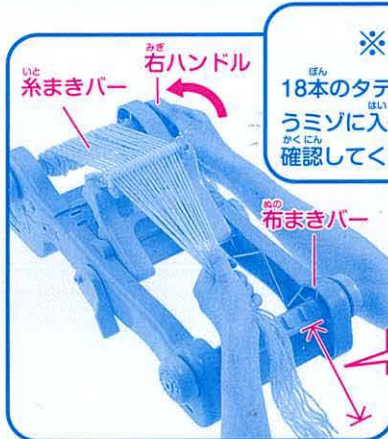
送りレバーを止まるまで押し下げ、そうこうを上げます。



ツメに巻きつけたタテ糸はそうこうミゾの右から入れていきます。

※注意※

そうこうの一番端のミゾは、ガイドピンです。まちがえてタテ糸をかけないように注意してください。

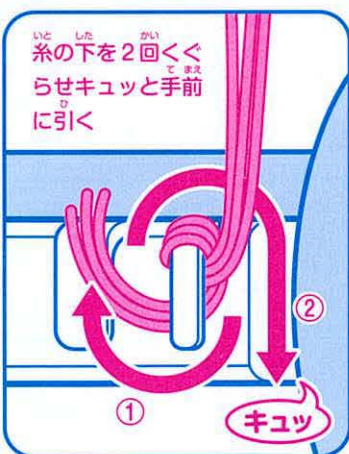
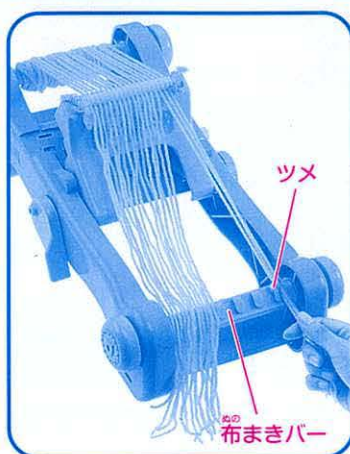


※注意※

18本のタテ糸が正しくそうこうミゾに入っているかどうか確認してください。

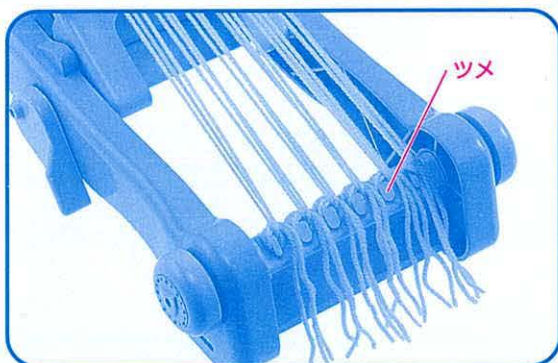
10cm くらい残す

同じように残りのツメにも3本一束にして巻きつけ、タテ糸を18本のそうこうミゾに入れ、布まきバーから10cmくらい残したところまで、糸を張ったまま右ハンドルを外側へ回して糸まきバーに糸を巻きつけます。



タテ糸を3本一束にして、布まきバーの右端のツメから図のように巻きつけます。

強めに引っ張ったまま、糸端を張られた糸の下を2回くぐらせ、キュットと手前に引きます。



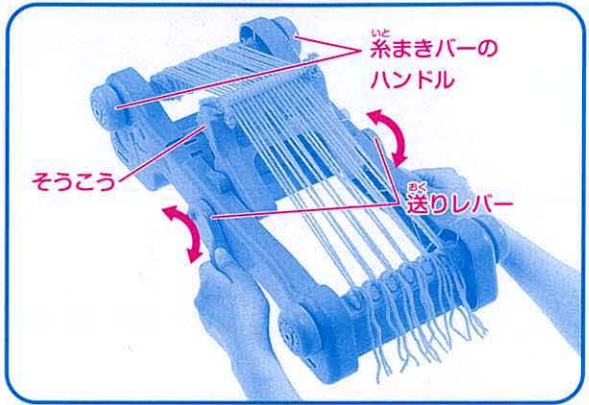
残りのツメ5本にも、同じようにタテ糸をつけます。

◆キレイに織るコツ◆

タテ糸の張りぐあいを、全部平均するように張るのがきれいに織るコツです。指で押さえてみて、ゆるんだ糸は直しましょう。

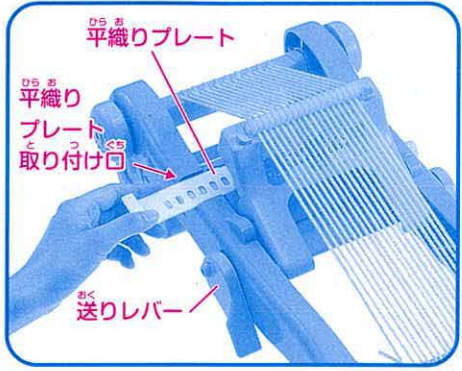


2. 送りレバーの動きの確認

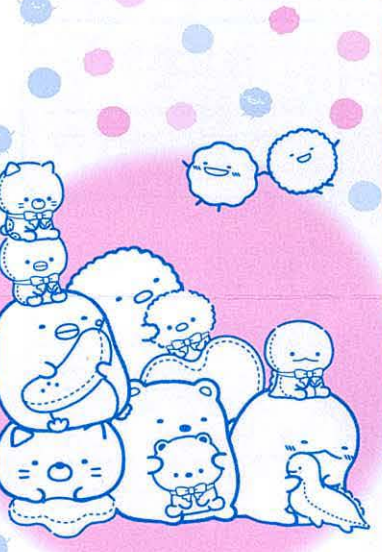
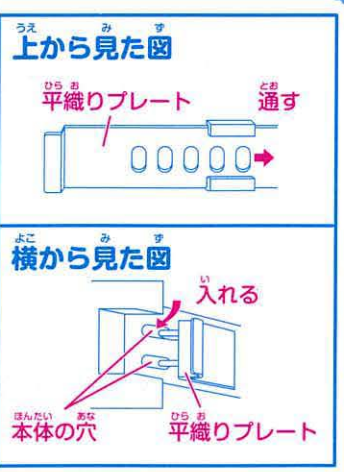


何回か送りレバーを上げ下げし、そうこうがスムーズに動くように、糸まきバーのハンドルを回して調節します。

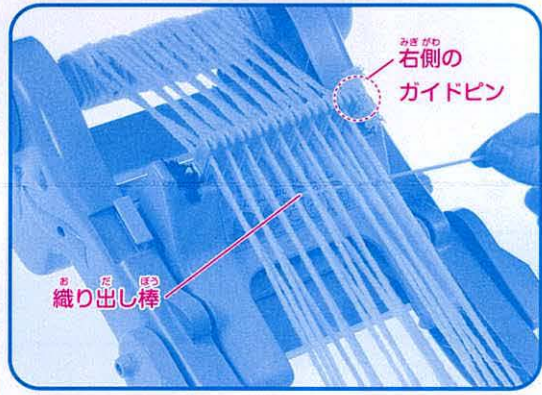
3. 平織りプレートの入れ方



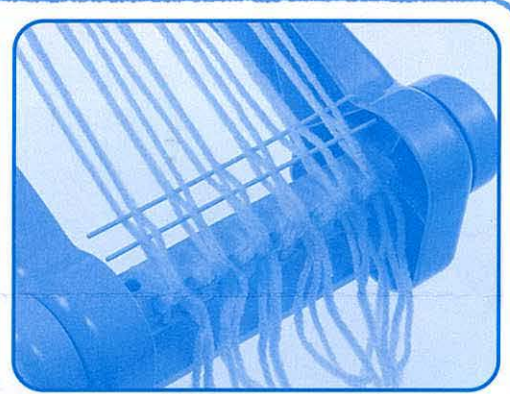
送りレバーが下がっていることを確認してから、平織りプレートを取り付け口からすべらせるように入れ、上図のように正しくセットしてください。平織りプレートをセットしたら、送りレバーを上げて戻します。送りレバーを上げ下げし、平織りプレートが左右に動いていることを確認してください。



4. 織り出し棒のセット



右側のガイドピンが上がっていることを確かめてから、杼道に織り出し棒を1本通し、手前に引きよせます。



もう一度送りレバーを下げ上げし、左側のガイドピンが上がったらもう1本の織り出し棒を杼道に入れ、引きよせます。(タテ糸の上下が変わらない場合は平織りプレートが正確に入っているかどうか見直してください)

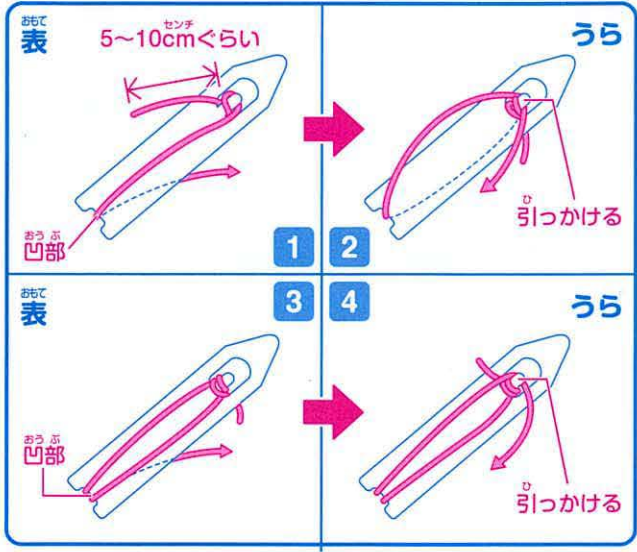
5. ヨコ糸の準備

毛糸をシャトルに巻きます。うす茶、ピンク、こげ茶の毛糸を用意しシャトルに巻きます。
※説明はパッケージの写真のマフラーの順番になっています。

使用するヨコ糸の色

とんかつ	うす茶	ピンク	こげ茶
とかけ	みず色	しろ	こげ茶
しろくま	しろ	ピンク	こげ茶
ねこ	クリーム	みずいろ	こげ茶
ペんぎん?	黄緑	うす茶	こげ茶

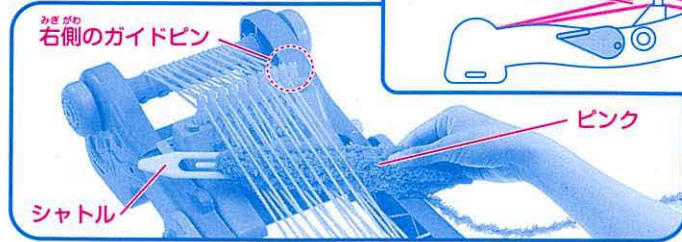
巻き方



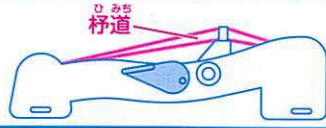
- シャトルの穴の中の棒に、切ったヨコ糸の端をひと巻きします。
- シャトルの下側の凹部に引っ掛け、うらに回して中の棒にかけます。
- 表、うらと交互に糸を約15回ぐらい繰り返して巻きとり、糸を切ります。

※巻きすぎるとシャトルが杼道に通らなくなります。シャトルが杼道に通るまで糸を巻いてください。

6. 平織りを織る



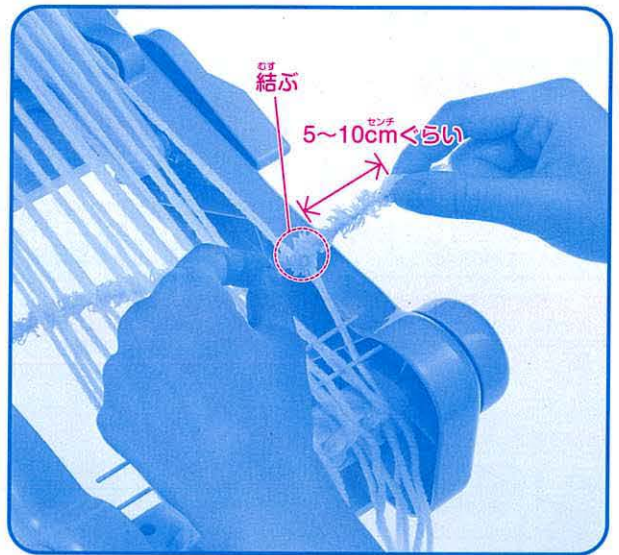
送りレバー…上下したタテ糸の間のすき間のこと



送りレバーを下げ上げし、タテ糸の上下が逆になり右側のガイドピンが上になっていることを確認してから、送りレバーの右側から左側へ、ピンクの毛糸のシャトルを通します。

♥ポイント♥

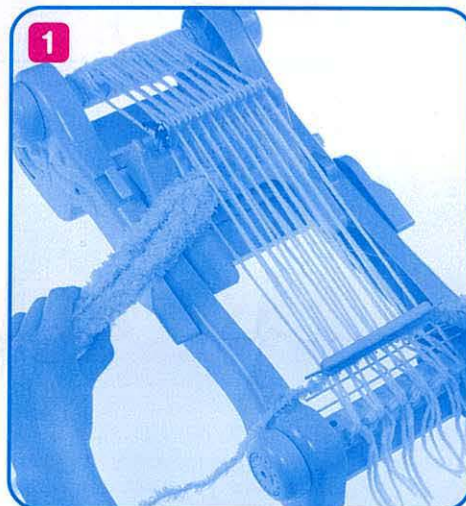
タテ糸をきつく張りすぎると、送りレバーを下まで押さなかったり、そうこうがうまく戻らない場合がありますので、糸まきバーのハンドルを引きながら回し、タテ糸をゆるめて調節してください。



ヨコ糸の端を5~10cmぐらい残し、一番端のタテ糸に結びつけておきます。



両端のタテ糸をクシの歯の両端に通します。クシで斜めに通したヨコ糸を手前に引きよせます。



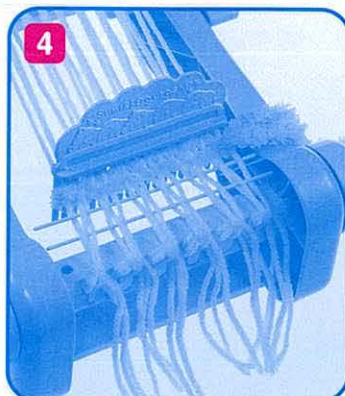
送りレバーをもう1回下げ上げし、左側のガイドピンが上がっていることを確認してから、シャトルを左から右に通します。



クシを引き寄せたままの状態ですと、織り幅が均一に仕上がります。



クシをタテ糸から抜き、両端のタテ糸をクシの歯の両端に入れます。



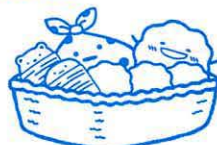
入れたクシを手前に引きよせ、ヨコ糸を整えます。



1番から4番を繰り返して、6段織ります。

◆キレイに織るコツ◆

1. タテ糸の張りを平均にする。
2. ヨコ糸に適度のゆるみを与える(斜めに通す)。
3. 布の両端(布耳)を揃える。



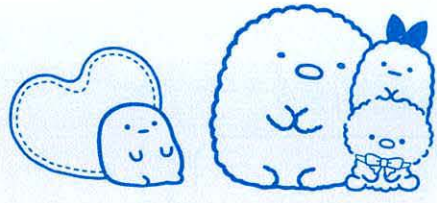
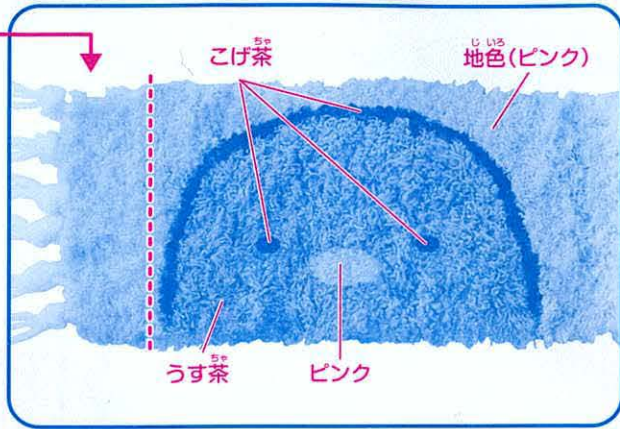
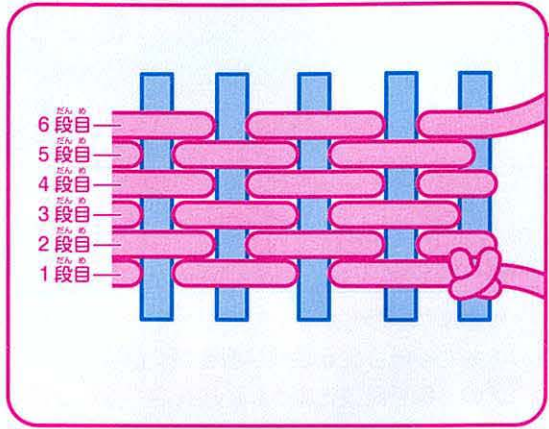
すみっコマフラーの織り方

パンチカードの織り方

※説明はパッケージの写真のマフラーの順番になっています。

7. パンチカードを使って織る準備

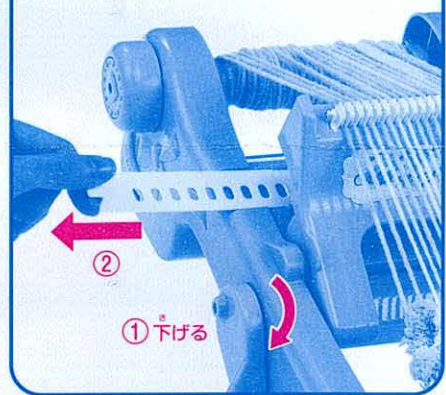
とんかつを織ります。
うす茶、こげ茶の毛糸を用意します。



ガイドピンにつけるヨコ糸の色

ガイドピン	右(地色)	左(顔の線)
とんかつ	ピンク	こげ茶
とかげ	白	こげ茶
しろくま	ピンク	こげ茶
ねこ	水色	こげ茶
べんぎん?	うす茶	こげ茶

平織りプレート本体から取りはずします。



- ①送りレバーが止まるまで押し下げ、
- ②平織りプレートははずします。

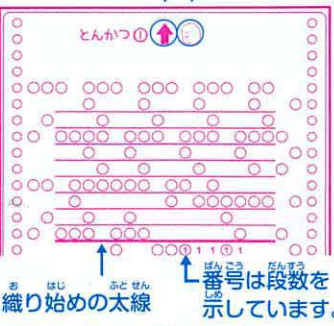
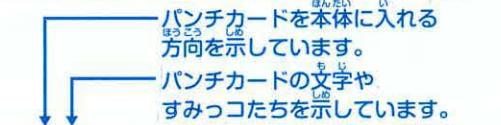


織っている毛糸の色がわかるようにガイドピンに毛糸をつけます。ヨコ糸に使う毛糸をそれぞれ5~6cmぐらい切って右側にピンク(地色)左側にこげ茶(顔の線)を付けます。

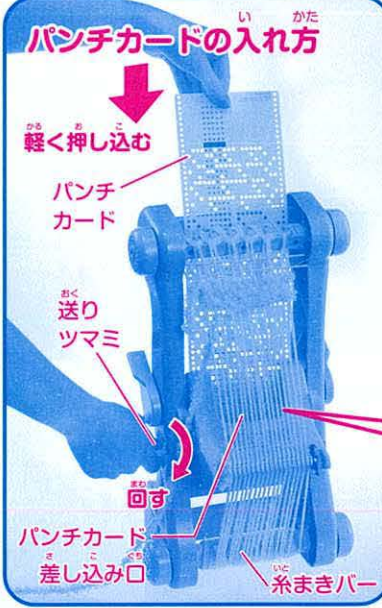
8. パンチカードの入れ方

織りたいすみっコたちや文字のパンチカードを選びます。ここではとんかつを用意してください。

パンチカードの見方



A~Zの1枚に2種類の文字が入っていて、しろくま、べんぎん?、とんかつ、ねこ、とかげは表裏で1つのキャラクターが織り上がります。
①(表面)、②(裏面)の矢印の方向に注意してください。

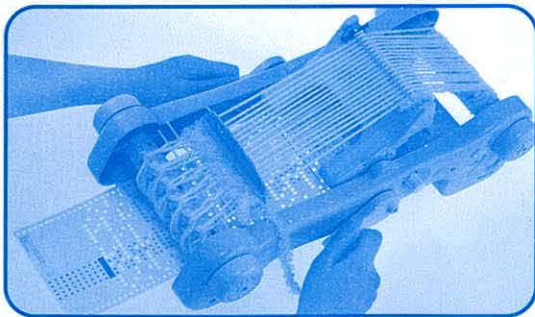


※注意※
そうこうが上まっていることを確認してから、パンチカードを入れてください。

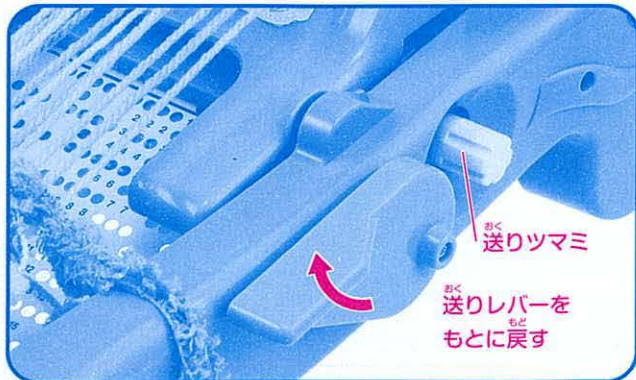
写真のように、糸まきバーを下にして本体を立てます。
パンチカードは、とんかつ①を表にして、パンチカード差し込み口から矢印を下にしてパンチカードを入れます。



パンチカードを軽く押し込みながら送りツマミをゆっくり回し、パンチカードを2~3段送ります。



パンチカードが平行に入っているかどうかを確認しながら、送りレバーを上げ下げしパンチカードの1の上の太線のところまで送ります。



太線のところまでパンチカードが送られたら、送りレバーを押し上げてもとに戻します。

※注意※

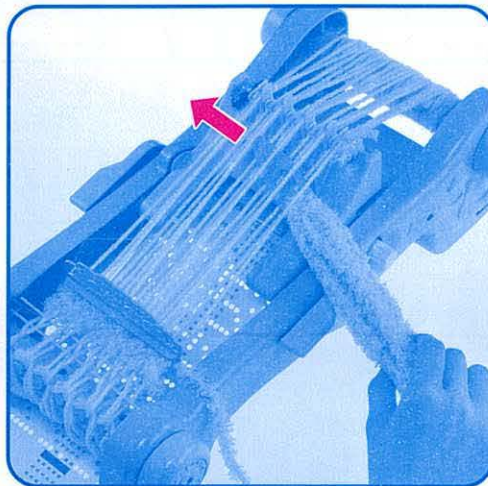
そうこうが下がりづらく杼道が狭いときは、送りツマミを少し前後に動かしてください。



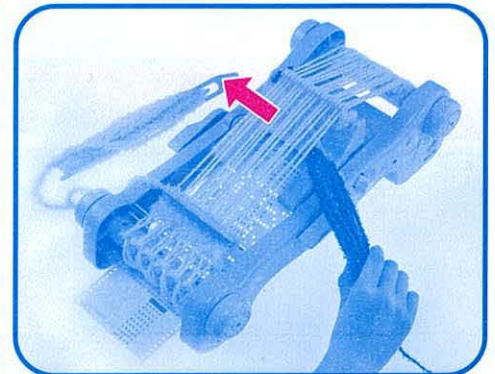
9. パンチカードで織る



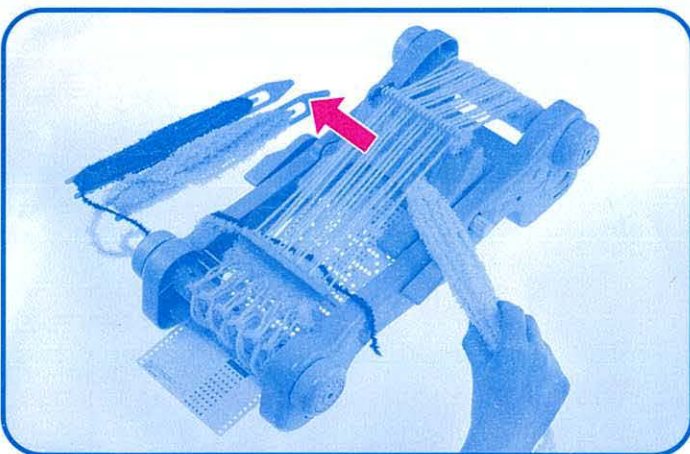
① 両端のタテ糸をクシの歯の両端に通します。



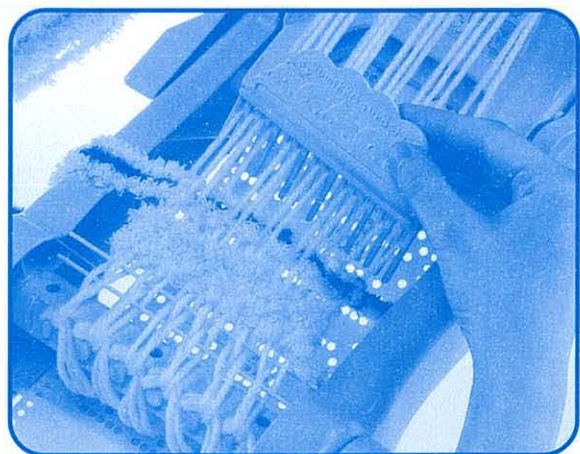
② 右側のガイドピン(ピンク(地色))が上がっているのを確認してから、ピンクの毛糸を巻いたシャトルを杼道の右側から左側へ通しパンチカードの1段目を織ります。



③ 送りレバーを押し下げ戻し、左側のガイドピン(こげ茶(顔の線))が上がり、パンチカードの右側の数字が2に変わります。こげ茶(顔の線)の毛糸で、杼道の右側から左側へシャトルを通し2段目を織ります。こげ茶(顔の線)の毛糸の端を5~10cmくらい残し、一番右端のタテ糸に結びます。



④ 送りレバーを押し下げ戻し、左右両方のガイドピン(ピンクとこげ茶)が上がります。パンチカードの右側の数字が3に変わります。うす茶の毛糸で、杼道の右側から左側へシャトルを通し3段目を織ります。うす茶(顔の色)の毛糸の端を5~10cmくらい残し、一番右端のタテ糸に結びます。



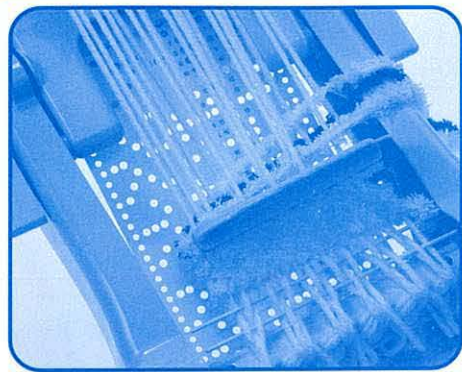
⑤ クシを抜き、先ほどと同じように、両端のタテ糸をクシの歯の両端に通し、3本の毛糸を手前に引きよせます。



すみっコマフラーの織り方

パンチカードの織り方

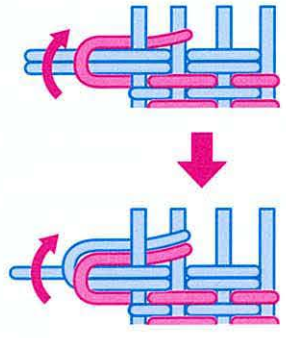
⑥ 送りレバーを押し下げ戻し、右側のガイドピン(ピンク(地の色))が上がっていることを確認してから、今度は左側から右側へ4段目を織ります。
(⑦の「端のヨコ糸の通し方」参照)



⑦ 送りレバーを押し下げ戻し、こげ茶(顔の線)の毛糸も同様に左側から右側へ5段目を織ります。

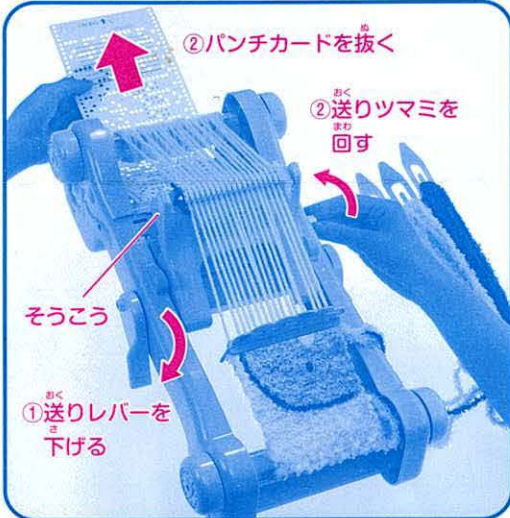
⑧ 送りレバーを押し下げ戻し、左右両方のガイドピン(ピンクとこげ茶)が上がっていることを確認してから、うす茶(顔の色)の毛糸も同様に左側から右側へ6段目を織ります。

⑨ ガイドピンに従って、①～⑧を繰り返して織り進めます。
※ガイドピンはシャトルを入れる方向とは関係ありません。



端のヨコ糸の通し方
両端の折り返し部分は、前に織った毛糸の上を必ず通るように織ってください。

10. パンチカードの抜き方

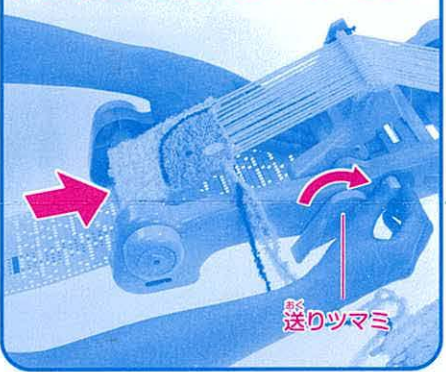


パンチカードとんかつ①が織り終わるとそうこうが全て上がります。

① 送りレバーが止まるまで押し下げて、そうこうを上固定します。
② 送りツマミを回して、パンチカードを抜きます。このとき、パンチカードは強く引っ張らないでください。裏面のとんかつ②を表にしてパンチカードを本体に入れます。とんかつ②は左右のガイドピンが上がるうす茶(顔の色)から始まります。

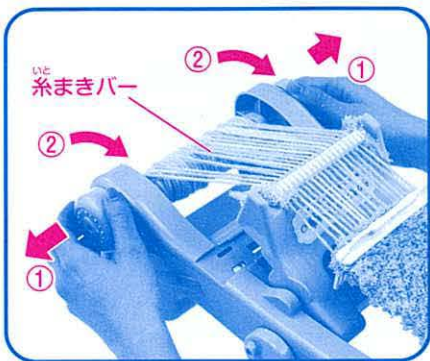
(⑤の「8.パンチカードの入れ方」参照)
ヨコ糸を入れる方向は織る順番やパンチカードによって左右逆になる場合があります。

パンチカードが入りにくいときに



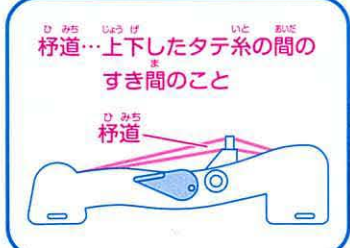
タテ糸と本体の間から手を入れてパンチカードを少し押しながら送りツマミを回してください。

11. 布地の巻き取り

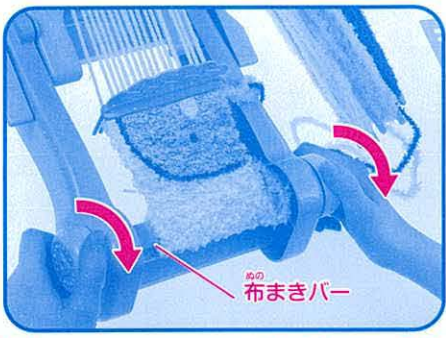


織り進めると、裾道が狭くなります。シャトルが通しづらくなったら布を巻き取りましょう。

① 糸まきバーの左右のハンドルを同時に両手で引っ張り(ロックがはずれる)
② そのまま手前に回すと糸まきバーとそうこうの間のタテ糸がゆるみます。



※注意※
ゆるめるときは、両方のハンドルを同時に引き回してください。



次に布まきバーのハンドルを手前に回して、ゆるめた分のタテ糸を巻き取りまわす。糸の張り具合は、最初と同じくらいにしてください。

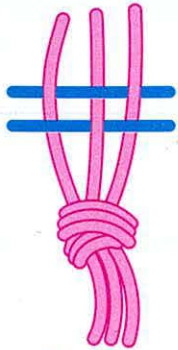
⑤の「8.パンチカードの入れ方」から⑦の「11.布地の巻き取り」を繰り返して、とがげ、しろくまの順で織り進めます。

※注意※
巻き取る時は、ハンドルをそのまま回します。

※注意※
別のすみっコたちを織るときは、シャトルから使わない色の毛糸をはずし、使う色の毛糸を巻き直してください。

12. 房をつくる

とんかつ、とかげ、しろくままで織り終わったら、タテ糸を本体から外し、両端に房を作ります。



巻き結び

13. 残りのねこ、ぺんぎん?を織る

残りのタテ糸18本を使います。



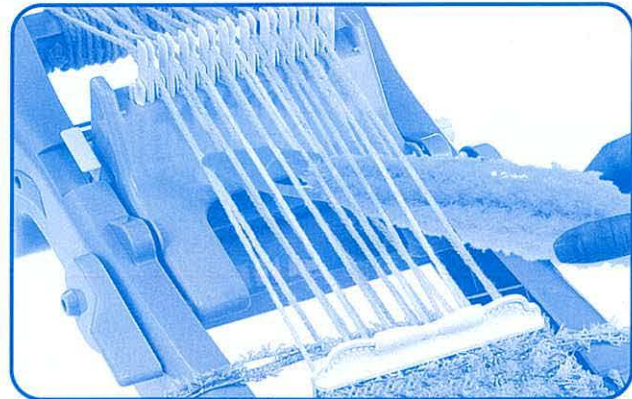
ここを織ります。

②の「1. タテ糸のとりつけ」をして、次に⑤の「8. パンチカードの入れ方」を参照して、ねこ①のパンチカードを表にして本体に入れます。

ねこ②→ぺんぎん?①→ぺんぎん?②の順で織り、最後に⑧の「15. 織り終わったら」をします。



14. もう一度平織りを織る



ぺんぎん?まで織り終わったら、平織りプレートを入れてうす茶の毛糸で平織りを6段織り房をつくりま

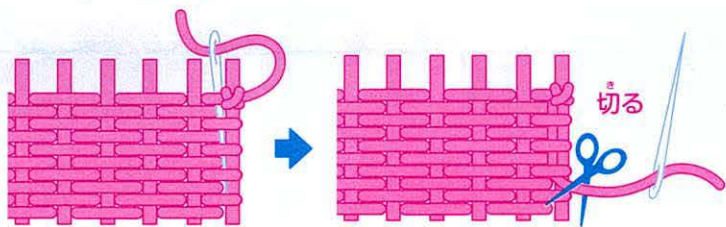
す。(平織りは④の「6. 平織りを織る」、房をつくる時は⑧の「12. 房をつくる」参照)

15. 織り終わったら

織り終わった最後のヨコ糸は、布端から10cmぐらいのところで切ってタテ糸に結びます。

糸まきバーと布まきバーにかけてあるタテ糸を全部はずします。

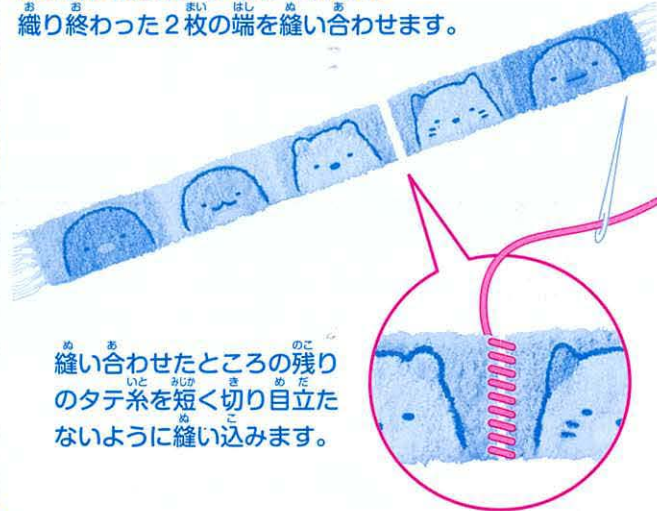
ヨコ糸の止め方



ヨコ糸の糸端は、最後に付属の針で自立たないところに縫い込み、余った糸は切り落とします。

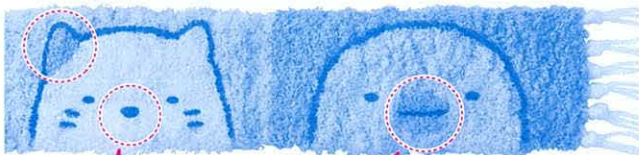
16. 2枚を縫い合わせる

ぬい針に残ったタテ糸を1本通し、織り終わった2枚の端を縫い合わせます。



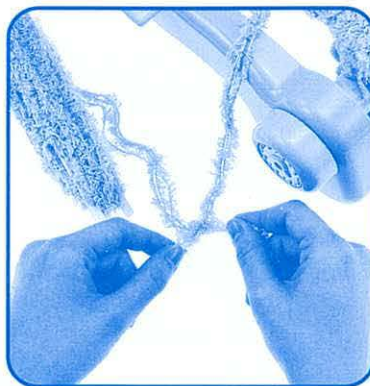
縫い合わせたところの残りのタテ糸を短く切り目立たないように縫い込みます。

ねこの耳と鼻、ぺんぎん?の口をぬい針で刺繍します。



すみっコたちの顔をとのとてマフラーのできあがり

シャトルの毛糸がなくなったら



シャトルに巻いたヨコ糸が足りなくなったら、シャトルに新しいヨコ糸を巻き、その糸端を結びつなげます。

文字を織るときは

文字を織るときは毛糸2色とシャトル2本を使用します。本体の右のガイドピンに地色にしたい色、左のガイドピンに文字色にしたい色をそれぞれ付けます。それと同じ色の毛糸をそれぞれシャトルに巻き付けます。

文字のパンチカードは1枚で2種類の文字が織れます。織りたい文字の矢印を下にしてパンチカードを本体に入れ、織り進めてください。文字を組み合わせて織ってね。